

2009年12月21日

モナコ公国で開催される主なイベント (2010年)

モナコ公国では、1年を通してさまざまなイベントが開催されます。F1レース、ツール・ド・フランス、テニスのモンテカルロ・マスターズなど世界の頂点を競うスポーツ大会や、モンテカルロ・バレエ団、モンテカルロ・オペラやモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団などの芸術祭は特に有名です。2010年にモナコで開催される主なイベントは以下の通りです。

* 第34回モンテカルロ・サーカス国際フェスティバル(2010年1月14日～24日)

同フェスティバルは、旧市街地にあるエスパス・フォンヴィエイユのサーカステントを舞台に開催されます。この世界最大級の国際サーカス・フェスティバルでは、近代的なきらびやかさの中に伝統的かつ本格的な技の数々が映える世界各国のサーカスをご覧ください。期間中は、サーカス団が一流の技を競い合うコンペティション演技と受賞者によるショーが行われます。

* 第78回モンテカルロ・ラリー(2010年1月19日～22日)

ラリー・オートモービル・モンテカルロ主催の同ラリーには、数々の新車が出場する予定です。スタートのセレモニーは、1月19日(水)の17:00～行われ、南仏のヴァランスからいっせいにスタートします。また、レントのル・コンド・レシャラソン～ル・コンド・ゴディサール間を走る、人気の9キロ競技も、同じく19日(水)に開催されます。同ラリーは、ユーロスポーツを始め、世界70カ国あまりの国々で同時中継される予定です。

* 春の芸術祭(2010年3月15日～4月6日)

春の風物詩のひとつでもあるこの文化イベントは、カロリーヌ王女主催の芸術祭で、モンテカルロ・フィルハーモニー・オーケストラによるコンサートや、モンテカルロ・バレエ団による公演、世界的に有名なミュージシャンを招いたリサイタルが開催されます。2010年の春の芸術祭は、モナコにおけるロシアバレエ団による公演100周年を祝い、例年とは一味違う趣向を凝らしたコンサートの数々をお楽しみいただけます。

プログラムの内容は次の通りです。

- ①ロシア音楽における最も重要な作品に触れることのできる「モンテカルロ・フィルハーモニー・オーケストラによる演奏会」と「ピアノ・リサイタルの2つのコンサート
- ②ムソルグスキー(Moussorgski)にささげるオマージュ
- ③ラヴェル(Ravel)にささげるオマージュ
- ④モナコ・ダンスフォーラムとのコラボレーションにより、4人の振付師と4人の造形美術家と4人の作曲家の芸術作品を一堂に集めた4つの短編作品
- ⑤モンテカルロ・バレエ団との共同制作作品

*** 第14回モナコ・リヴィエラ国際マラソン(2010年3月21日)**

1997年から毎年実施されている同マラソン大会の最大の魅力は、何といても世界で唯一、3カ国を走るコースという点にあります。毎年、約50カ国から3000名程のランナーが参加する同大会は、あのF1グランプリと同じエルキュール港からスタートし、暫くモナコ公国内を走った後、コートダジュールを駆け抜けてマントンの町に入り、その後、イタリア・リヴィエラ沿いの町、ヴァンテミッレを通過し、最後は再び、モナコのルイ2世スタジアムでゴールを迎えます。

競技の内容は次の通りです。

①種目：フルマラソン(9:00スタート)/10KMマラソン(9:45スタート)の2種目

②申し込み方法：

URL www.monacomarathon.orgにアクセスしてお申し込みいただくことが可能です(英語版・フランス語版・イタリア語版のみです)。

PDFの申し込み用紙に必要事項をご記入の上、メールもしくは郵送にてお申し込みいただけます。

③お申し込みまたはお問い合わせ先：

<Marathon de Monaco et des Riviera(モナコ・リヴィエラ国際マラソン協会)>

■メール：info@monacomarathon.org

■電話：+377 92 05 43 05

■住所：Federation Monegasque d'Athletisme-Stade Louis II -98000 Monaco

*** 海洋博物館の100周年(2010年3月29日)**

モナコ公国の歴史を語る上でも欠かすことのできないこの海洋博物館は、海全体を見渡せる絶好のロケーションに位置しています。この博物館は、創設者、アルベール1世公の所有する歴史的価値のある海洋コレクションの展示や水族館で飼育されている生物たちの生態を知ってもらうことにより、広く一般の人に海洋学についての見識を深めてもらうと同時に、海の大切さを知ってもらうことを目的に建設されました。ジャック・イヴ・クストー率いる同海洋博物館には、毎年、70万人以上の来場者が訪れます。2010年は、創立100周年を記念して、所蔵品の特別展示や海を見渡せるロケーションに建てられた奇抜な建築物の歴史を垣間見ることのできる企画展が予定されています。

*** モンテカルロ・ロレックス・テニスマスター(2010年4月10日~18日)**

1969年以来、毎年4月中旬にモンテカルロで開催される歴史ある男子ATPツアーマスターズシリーズの1つです。2010年も世界の一流テニスプレーヤーたちによる白熱した試合が連日繰り広げられることが予想されます。

*** 第7回モナコ・ヒストリック・グランプリ(2010年5月1日~2日)**

2年に1度行われ、モナコF1グランプリの2週間前に開催される同グランプリが、2010年も上記の日程で開催されます。今回は、フォーミュラ・ジュニア(1958~1963年)の車がフォーミュラ3に代わって登場します。

出場する車のラインナップは、次の8シリーズです。

セリエA - 1947年以前のグランプリカー

セリエB - 1947 - 1960年以前のモーター付グランプリカー

セリエC - 1953以前のスポーツカー

セリエ D – 1964 – 1970 年のフォーミュラ3、1000 cm³
セリエ E – 1954 – 1965 年の前エンジン搭載グランプリカー
セリエ F – 1966 – 1974 年のフォーミュラ1カー
セリエ G – 1975 - 1978 年のフォーミュラ1カー
セリエ H – 1971 – 1984 年の 1600 cm³ および 2000 cm³、フォーラム3カー

*** 第 68 回F1 グランプリ(2010 年 5 月 13 日～16 日)**

2010 年のF1 世界選手権もまた見逃すことができないイベントのひとつです。5 月 20 日～23 日に開催が予定されていたモナコF1グランプリの競技日程は、当初の予定より数週間前倒しで開催されることになりました。この日程変更は、トルコのレースとモナコ・グランプリの間が、ほんの数週間しか空いていなかったことから、ファクトリーチームに準備時間を与えるために取られたものです。その結果、モナコ・グランプリとバルセロナで開催されるグランプリの間は、1週間たらずとなりましたが、レーサーたちがこのハードなスケジュールをどのように調整するかも見所のひとつと言えます。

*** 第 50 回モンテカルロTV映画国際フェスティバル(2010 年 6 月 6 日～10 日)**

モンテカルロで毎年開催される同フェスティバルは、テレビ映画、ドラマなど、テレビ番組を対象とした国際的な映像フェスティバルです。会期中は、国際的に活躍するテレビ関係者が一堂に会し、夜は豪華な祝典パーティーが行われる他、今日のテレビを発明した発明家の歴史に触れたりすることができます。

*** モンテカルロ国際馬術障害飛越競技(2010 年 6 月 24 日～26 日)**

F1 レースが終わると、モンテカルロ国際馬術障害飛越競技のための準備が始まり、観客やメディア、馬術ファンにとって待望のシーズンがやってきます。エルキュール港を望む会場では、数々の障害物を乗り越える馬術競技のほか、馬術のデモンストレーションが行われます。また、競技場の窓からは、クルーズ用の美しいヨットが海上を滑るように走る様子を見ることができます。

*** グリマルディ・フォーラム(2010 年 7 月 14 日～9 月 12 日)**

グリマルディ・フォーラムでは、2010 年 7 月 14 日～9 月 12 日まで、「京都ー東京:サムライからマンガまで」と称して、浮世絵に代表される日本の伝統芸術からマンガやアニメーション、ハイテク技術に至る、様々な日本文化に触れるイベントを開催します。

*** クラシック・ウィーク(2010 年 9 月 14 日～18 日)**

アルベール 2 世公がモナコ元首の時代に制定されたモナコ・クラシック・ウィークは、エルキュール港を航行する帆船やヨットを歓迎するイベントです。伝統的な帆船や年代もののヨット、時代を感じさせるモーターボートが列をなして航行する様は、まるでベルエポックの時代にタイムトリップしたような光景で、ヨットマンたちの真の精神を目の当たりにすることができます。

モナコ公国について

モナコ公国は、世界で2番目に小さな国として知られていますが、その景観美は「地中海の宝石」と呼ばれるほど美しく、観光配慮型ツーリズムの推進にも積極的に取り組んでいます。モナコと言えば、カジノや超高級ホテルでの滞在、公室御用達ブランドなどのショッピングに代表されるウルトラ・ラグジュアリーなデスティネーションとして有名ですが、美しいビーチや公園、モンテカルロ・バレエ団に代表される舞台芸術、充実したスパ施設、世界各国の美味しい食事などを堪能することができます。日本の皆さまに日常とはかけ離れたラグジュアリーなひとときをご提供いたします。ご家族連れやカップルでのご旅行はもちろんのこと、インセンティブ旅行や国際会議開催の場としてもモナコ公国は最高の旅先といえるでしょう。モナコ公国のイベントや滞在中の楽しみ方についての詳細は、公式ホームページ <http://www.micemonaco.jp/> でご覧いただけます。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～
モナコ政府観光会議局 日本事務所 担当: 水谷・中尾
TEL: 03-3225-1175 / FAX: 03-5367-2656
E-mail: monaco.japan@aviareps.com